

【八丁堀だより】



浄土真宗（真宗大谷派・東本願寺）



林鶯凶 憶西院 超覚寺

RIN-ŌH-ZAN OKU-ZEI-IN CHŌH-KAKU-JI
 (since 仏暦2162, 西暦1619, 元和5)
 〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2
 Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113
 Mail : wada@namuamidabutsu.com
 HP : http://www.namuamidabutsu.com

◎ 浄土真宗基礎講座(超覚寺女子会定例会)：14時～15時
 毎月原則28日(親鸞聖人のご命日)に開催しています。

28日が土日当たる場合は直前の金曜日としています。

今後の開催日⇒ 10/27(金)、1/26(金)、

11・12月は法座がある月なので休会します。

毎回「テーマ」を設けて、皆で座談する形式で開催しています。

10月「後生の一大事」とは死後の救いを願うことなのですか？」

1月「御葬儀にお坊さんは必要ですか？」

※10月27日は仏具のお磨きしますので、奮ってご参加ください。

◎ 死別の方かちあいの集い(予約・参加費不要)：13時～15時

・伴侶：毎月第1土曜日(10/7、11/4、12/2、1/6、2/3)

・自死：毎月最終土曜日(10/28、11/25、12/30、1/27)

当事者の方々と僧侶(超覚寺住職)との分かちあいの集いです。

◎ ほっ！と相談(予約可)：毎月第2火曜日 13時～16時

精神対話士(メンタルケアの専門家)との1対1の面談形式です。

日頃心の中に溜め込んでいるモヤモヤした気持ちを吐き出して、ほっ！とする時間を持ちませんか？

◇ 報告・連絡・“僧”談 【超覚寺開基400周年法要準備続報】

① 本堂正面の巻障子は建築以来30年以上が経ちました。かなり傷みが目立ってきたので、修理をすることになりました。製作した京都の仏具屋さん11月中旬から3月頃まで預ける予定です。

② 本堂内の後ろ側の段差を解消するために、バリアフリーの工事をします。

③ 超覚寺の由来板を製作しますが、その文案を考えるため、11月4日(土)

11時から「昔の超覚寺を語る会」を開きます。戦前の超覚寺をご存知の方は、ぜひご参加ください。なお、昼食も用意しております。

発行人：超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (* - *)人i~合掌

超覚寺 秋&冬の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがとうございます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(二二)>

◎ 2017年報恩講法要



- 11月3日 (金・祝)
- 10時～ 勤行：住職
- 10時半～ 法話：近藤龍麿師
- 12時～ 御斎(おとぎ)
- 13時～ 市内住職出仕勤行
- 14時～ 法話：近藤龍麿師

今回のご講師は、岐阜県大垣市廣専寺住職でシンガーソングライターの近藤龍麿先生です。昨年の広島東別院での推進員養成講座に参加された方々にはお馴染みですが、ギター法話(漫談?)が秀逸です。お参りされた方には、近藤先生のCDをプレゼントいたします。

◎ 帰敬式 (ききょうしき)

12月8日 (金) 13時～ 勤行・帰敬式

帰敬式とは、仏さまの教えを大切にし仏弟子として生きていくことを誓い、正式な法名をいただく「お髪剃り」の儀式です。御家族が先に受式された方や合同墓へ生前予約された方など、自分も受式したいという方のために、お釈迦様が悟りを開いた日に帰敬式を執り行います。

法名は住職と相談しながら御自身で決めていただきますので、受式を希望される方は11月中にお申し込みください。

◎ 東本願寺お煤払い奉仕団

12月19日 (火) 11時～ 20日 (水) 16時頃

本堂などにたった1年分のホコリを竹の棒と大きな団扇を使って外へ扇ぎ出し、新しい年を迎える準備を行います。これまで東本願寺を守ってこられた人々の願いにふれ、全国のお同行と共に自分の生活の在り方を確かめます。

今年には東本願寺境内の研修道場に1泊し、講義・座談・諸殿拝観・東本願寺阿弥陀堂・御影堂の清掃奉仕等で過ごします。全国各地の真宗門徒の方々との語らいも楽しいものです。寒い時期ではありませんが、年に一回しかない機会ですので、関心のある方は11月中にお申し込みください。

なお、他の宿泊施設が改装中なので、満員締め切りになった場合は御容赦ください。また、総費用は東本願寺への冥加金(食事代込み)・往復新幹線代込みでは**3万円**です。

◎ 超覚寺門徒 2017年 総追弔会 兼 永代経法要

12月28日 (木) 14時～14時30分 勤行・法話

今年最後の法要です。阿弥陀様や御先祖様に、この1年間を無事に過ごせたことを感謝すると共に、その仏徳を讃えます。法要後は茶話会を開きますので、お互いの想いを共有しましょう。有縁の方々はどうぞお参りください。

終了後には、新年を迎えるために本堂の仏具のお磨きをします。御都合の良い方は残ってお手伝い頂ければと思います。ワイワイしゃべりながら作業するのは楽しいものです。

◎ 2018年修正会法要

1月1日 (月・祝) 6時～、8時～、10時～、12時～、

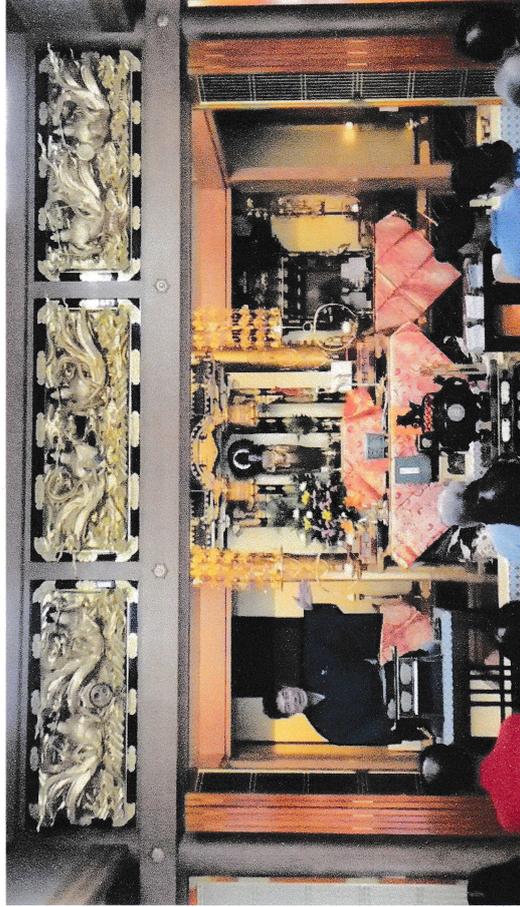
一年の計は元旦にあり。「今年もお念仏の道を歩ませていただきます」と阿弥陀様に御挨拶申し上げましょう。住職が約10分ほどの勤行・法話を勤めますので、新年のお墓参りの際に、どうぞ本堂までお参りください。

『門松や 冥土の旅の 一里塚 めでたくもあり めでたくもなし(一休宗純)』

◇ “寺”後報告： 秋季彼岸会法要 + 八丁堀寄席

9月23日(土・祝)には34名の方々がご参りくださいました。全員で読経し、私が「三施」についてお話した後、おぜんざいを召し上がっていただきました。

そして、いよいよ桂文鹿師匠の落語。今回は、新作「紙相撲実況中継」と古典「ネズミ穴」をご披露くださいました。新作の方は、小道具やモノマネも飛び出し、相撲に疎い私も涙を流して笑いました。落語では、扇子・手ぬぐい以外には使わないのが決まりだそうです。分かり易く伝えるために小道具を使うというのもアリだと感じました。私の法話スタイルの参考にしたいと思います。



◎ 終活講座 ～心豊かな終活を一緒に考えてみませんか～

12月9日(土) 14時～16時 行政書士 岡村奈七江氏

あなたは自分自身に「もしも」のことがあった時、大切な人に何を残したいですか？ 今後について不安や悩みはありませんか？ 残しておきたいものや伝えておきたい想いを「かたち」にすることは、今からできること。人生の棚卸しをすることで、これからの人生をより自分らしく生きる。それが「終活」です。

今回も超覚寺門徒の岡村奈七江さんを招き、終活の「あれこれ」をお教えいただけます。どうぞ万障お繰り合わせの上ご参加ください。

なお、今回は棺を設置していますので、納棺体験もしていただけます。より具体的に自分の「死」をイメージできる場になりますように。

☆ 伝道掲示板 (中国新聞セレクト9/28寄稿)

僧侶の自分は布教伝道ですが、その方法はさまざまです。御葬儀・法要・法座での勤行や法話も、寺報・SNS等の画像や文書も、全てお釈迦様や宗祖の御心を伝えるためのもの。お困りの方々に寄り添ったり、子ども会やお祭りを開いたり、このように新聞に文章を書いたりするのも、間接的ですが仏教に触れていただいていることとなります。

ほとんどの寺院が行っているのが伝道掲示板でしょう。寺門の横の掲示板には、いわゆる「良いお言葉」が張ってあります。そこは言葉のセレクトショップのようなもので、宗旨・宗派の違いや住職の個性がにじみ出ているから面白いのです。

私が住職を務めるお寺は広島市のど真ん中で、電車道にも面しています。門前を通る、世代も様々な皆さんに興味を持ってもらおうと心掛けています。あります。それは専門用語(経典や高僧のお言葉)を用いないことです。若い世代も知っているミュージシャンやスポーツ選手など著名人の発言で、仏教っぽいものを日頃から探し集め、時節に合った言葉を毎週日曜日に張り出し、フェイスブックにも載せています。通りすがりにスマホで撮影し、ご自身のSNSにアップされる方もいらっしゃいます。

多くの方は言葉そのものよりも、「誰の発言か」に興味があるようです。著名人の言葉を引用するのは「虎の威を借る」行為ですが、掲示板に関心を持ってもらえれば願ったりかなったり！ その言葉が面白くてウケれば、お寺を身近に感じてもらえるかも知れません。

宗祖親鸞聖人の時代なら辻説法が当たり前でしたが、私にはそんな度胸も力量もありません。しかし伝道掲示板は、私の代わりに辻説法をしてくれている分身のようなものです。今後も面白い言葉を掲示していきます。「超ウケる！」と感じてもらえたら超ラッキーです。

さて、広島東洋カープが日本一になったら、某選手の言葉を掲げる予定です。誰の、どんな言葉か。乞うご期待！

(和田隆恩：真宗大谷派超覚寺住職・臨床宗教師)